

# 初めての各委員会 研究部会が開かれる



去る六月七日、第十一期執行部が発足して以来はじめての各委員会、研究部会が宗務庁の会議室で行われた。併せて初めての事務局会も開かれた。今回は初顔合わせということもあって、まず全体で会議をし、その後各々別れて委員会、研究部会を行い、今後の活動内容について様々に論議された。それ



発行所

全国曹洞宗青年会

〒105 東京都港区芝2-5-2

曹洞宗宗務庁内

発行責任者 桜井朝尚

編集責任者 務台孝尚

TEL 03-3451-5411

でまずもって、今執行部では総合企画・事業研修・広報組織の三委員会を組織し、総合企画委員会の中に授戒会・青少年教化・ボランティア・パソコン通信の四研究部会を設けている。既に前号の第89号の紙面において各々の委員長ならびに部会長は紹介済みであるが、会議の報告という意味も兼ねていまだ一度この場を拝借して紹介してみよう。

総合企画委員長 東井千明(岩手)  
全 副委員長 小林真悟(埼玉)  
授戒会研究部会長

高橋一浩(秋田)  
青少年教化研究部会長  
荒木正昭(熊本)

ボランティア研究部会長  
大谷良心(奈良)

パソコン通信研究部会長  
晴山俊英(岩手)

事業研修委員長 荒井裕明(埼玉)  
広報組織委員長 務台孝尚(長野)  
以上のメンバーである。この内ボランティア研究部会長は去る六月一日に開催された総会の時にはまだ決まっておらず、今回の委員会の中で決定を見たのである。そして、今回の各委員会および研究部会で討議された内容は、おおよそそのスタンスと今後の方向性ということが大きな

テーマであったように思われる。また、実際に結果は出ているのであるが、この時授戒会について・パソコン通信についてのアンケートを出すことを取り決めた。そのアンケートを基にしていくつかの視点で研究が為されればというもくろみである。青少年教化では他宗派の活動ないしは資料等をも参考にしながらその実体を検証し、研究してゆく。ボランティアでは組織の連結のマニュアル作りをまず第一として研究を進めてゆく。この様なことを基として実りある研究がなされれば幸いである。

次に、去る九月五日には第二回目の事務局会が宗務庁で行われた。この席では前号、第89号「曹青通信」の発行に關しての経過報告、そしてその反省や意見、要望等が話し合われ、続いて各研究部会の途中経過の報告が為された。「曹青通信」については様々な意見を聞くことができ、非常に参考とすべき点が多々あったように感じた。各々の研究部会の経過報告では次第次第に成果が出てきているような感触があり、先が楽しみのような気がしてきたようでもあった。

## 授戒会研究部会報告

活動報告に側し、各単位曹青にアンケート等をお願いいたしましたところ、29件の回答と、11件の資料が回収されました。その結果をご報告いたしますとともに、興味深い内容の事例が、二・三件寄せられましたので今後紙面にてその実際を紹介させていただきますかと思っております。

又、戒会についてのマニュアル的な資料として熊本曹青・出雲曹青より小冊子を送付していただきました。両冊子とも完成された法式帖となっており、戒会を行うにあつたのたき台として非常に便利なものと思えます。参考資料としてここに紹介させていただきます。尚、希望の方は各自にて左記までご連絡・申し込み下さい。

※出雲曹青刊「知殿便利帳」

B四判 全二四ページ

連絡先 〒693

鳥根県出雲市松葉下町三八

## アンケート回答 (要点のみ)

	県名	戒師	開催年	戒弟	亡戒	随喜	種別	付記	(期間)
1	北海道3	総持寺貫首	平元	350	140	70	法脈会		
2	青森	永平寺貫首	昭63	800	100	80	晋山授会		
3	宮城	総持寺貫首	平6	236	702	140		宗務所・青年会共催	(5日間)
4	新潟	大栄寺堂頭	平7	150	1,200	60			(5日間)
5	長野1	永平寺貫首	昭63	350		80		開創遠忌授戒	(5日間)
6	〃	総持寺貫首	平2	300		100		修証義100周年記念	(5日間)
7	〃	永平寺貫首	平4	240		80	晋山授会		(5日間)
8	〃	総持寺貫首	平5	250		100		開創遠忌授戒	(5日間)
9	〃	永平寺副貫首	平6	30		20	因脈会		
10	〃	永平寺貫首	平7	354		80	晋山授会		(5日間)
11	静岡1	〃		300-400		80	梅花授会	昭和47年頃より2年に1度	
12	静岡2	総持寺貫首	平6	200			因脈会	宗務所主催	
13	静岡3	〃	昭58	350	140	70			(5日間)
14	静岡4	永平寺貫首	昭63	1,170	950	83			(5日間)
15	福井	永平寺副貫首				50			
16	三重	宗議会議員	平6	40	20	20	法脈会	宗務所主催・寺族対象	
17	愛知	妙巖寺堂頭	平5	300	500	87		青年会主催(第5回)	(5日間)
18	〃1	最乗寺堂頭	平6	150	100	50	晋山授会		
19	滋賀	永平寺貫首	平3	250	300	50			(5日間)
20	大阪	〃	平6	200	326	80			(5日間)
21	鳥取	〃	平5	100		50	因脈会		
22	鳥根	総持寺貫首	平5	300	275	70		宗務所主催	(5日間)
23	広島	永平寺副貫首	平5	160	300	45	晋山授会		(4日間)
24	愛媛	〃	平7	250	450	65	〃		(4日間)
25	佐賀	〃	平6	250	500	65	〃		
26	福岡	総持寺貫首	平6	150	700	80		青年会主催	
27	宮崎						晋山授会		
28	長野2	戒会 無							
29	茨城	戒会 無							

曹洞宗専門  
法衣・仏具  
梅花流法具



株式会社 細野福藏商店

〒604 京都市中京区高倉通御池南入  
Tel 075(221)1455(代) FAX 075-221-7811  
フリーダイヤル 0120-1455-07

須谷 円 哉 様  
葉師寺御山内

TEL0八五三一二八一—二四六  
(出雲曹青事務局)

※熊本曹青刊「授戒会法式帖」

単行本判 全一四五ページ

他、次の様な御意見がありました。

・戒会については、教区単位での主

# 緊急災害対策マニュアル(案)

## ボランティア研究部会

①災害地の宗務所並びに曹青会は被災地に本部を設置する。

本部立地条件(できる限り寺院協力をお願いする)

★駐車場・プレハブ(倉庫、事務所、宿泊)・トイレ・台所・風呂等二〇〇坪

★電話・FAX・コピー・地図・文房具一式・名札

★パソコン通信

を設置し、事務局を決め、行政(市町村)側の災害対策本部に登録する。

本部システム

◎事務局(各課の設置)

1	熊本曹青 ↓ 「授戒会法式帖」
2	出雲曹青 ↓ 「知殿便利帖」
3	埼玉 ↓ 梅花授戒会差定
4	静岡 ↓ 授戒会日鑑・差定
5	山口 ↓ 落慶授戒日鑑(平7年度)
6	奈良 ↓ 授戒会日鑑
7	山形 ↓ 授戒会差定(自戒師)
8	大坂 ↓
9	新潟 ↓
10	宮城 ↓
11	宮城 ↓

催・実施が望ましい。

・戒会が青年会等の主催であれば

資金等の面であまり問題はないが

御親修となると、負担が多くなる。

檀信徒教化を基本にすえるなら、経費の面に一考有。

以上、皆様の御協力に感謝申し上げます。

上げます。

各NGO (SVA・赤十字・アマダ・ピースポート・YMCA等)の提携連絡含む。

★宗務所は支援金対策を本庁と協議すること。

★宗務庁・管区並びに両大本山に支援要請等、行政・宗務所・車輛・機材・物資・会計・各プロジェクト(調査・救援活動等)の管理部の設置。

②各府県の宗務所並びに曹青会は現地に代表者を送る。できれば、

●トラックに食材・器材・水・LPガスを積んで出発する。

●改良衣等一式・寝袋・携帯電話・ TENT を装備のこと。

●食材等の一覧表、器材の管理表と名前の記入。

●各府県でも現地派遣の人員・車

各府県でも現地派遣の人員・車

# 雲堂 翠

●	本福上等	03-3842-0201	(大代表)
●	●	03-3833-9511	(代表)
●	●	03-3834-1061	(代表)
●	●	03-3705-0201	(代表)
●	●	03-3417-6751	(代表)
●	●	045-311-0201	(代表)
●	●	048-645-0201	(代表)
●	●	0474-25-1072	(代表)
●	●	0473-84-0201	(代表)

(各店駐車場完備)

位は莊嚴 5里  
仏壇 仏具

●	本店	03-3842-0201
●	●	03-3833-9511
●	●	03-3834-1061
●	●	03-3705-0201
●	●	03-3417-6751
●	●	045-311-0201
●	●	048-645-0201
●	●	0474-25-1072
●	●	0473-84-0201

両に災害保険契約のシステムを  
 作ること。

●各宗務所は支援金対策について  
 本庁の指示連絡を受けること？  
 ③救援活動は基本的に炊出しからは  
 じまる。

◆被災所に泊り込む。\*注意事項  
 を九州曹青より報告。

◆炊出しの指導。話しをすること  
 により精神的なケアを心掛け  
 る。

◆各单位曹青の集合で同一被災所  
 の救援活動とする。

◆被災所本部を設置しシステムを  
 作る。

④救援活動の撤収時期は早期計画の  
 もとに行う。

■各曹青から持出しの器物点検。

■各曹青へ引上げる器物の点検。

■被災所に管理権を引き渡す器物  
 の点検。

■行政NGOとの連絡。

\*回向)炊出し)メンタル・ケアの  
 順

\*曹洞宗門として全曹青、宗務庁、  
 宗務所、管区の連絡網

\*時節の問題

なお、10月3日京都宗仙寺において  
 合同会議を開催しこのマニュアル案  
 を検討して行くものである。

## パソコン通信アンケート結果について

### パソコン通信研究部会

前回のアンケートへのご協力誠に  
 有難うございました。設問に不備な  
 点がありましたことをここにお詫び  
 申し上げます。また、全曹青側で返  
 信費用を負担すべきところ、予算の  
 関係から切手代を負担し返送して下  
 さいました方々に御礼申し上げます。

さて、アンケートは大体全部で約  
 300通が返信されました。そして、そ  
 れらの内容を検討したところ、  
 A. パソコン無し。興味もない。  
 ..... 25%  
 B. パソコン無し。興味はある。購  
 入は考えていない。..... 12%  
 C. パソコン無し。興味はある。購  
 入を検討したい。..... 18%  
 D. パソコン有り。新規の購入は考  
 えていない。..... 25%  
 E. パソコン有り。二台目以降も検  
 討したい。..... 18%  
 F. 分類不能..... 3%

で、すべて無料で各寺院に配置でき  
 るくらいの宗勢でありたい」などと  
 いう意見もあり、耳が痛かったので  
 すが、本体はともかくも通信費を負  
 担させるには些か抵抗があります。  
 実際の経費が果してどの程度になる  
 のか予想もつかないので、安易に全  
 曹青で負担する訳にも行きません  
 が、スタートしてみても大丈夫のよう  
 であれば、将来的には通信費負担も  
 予算に組み込んでもいいのではない  
 かと考えられます。また、通信の会員  
 については「全曹青に限る」と言う  
 ことでした。ところが、周囲の人に  
 呼びかけてみたところ、全曹青に  
 属していない人のほうが多いよう  
 です。本体の幹旋はともかく、通信に  
 関しては曹洞宗侶全般に門戸を開い  
 たほうが活性化するものと思われま  
 す。最初は実験的な意味合いが強い  
 ので全曹青会員諸氏に限るとして  
 も、近い将来には「曹洞宗の僧籍が  
 確認できる人物」という資格規定を  
 考慮しなければならぬかも知れま  
 せん。本来であれば、「通信をした



倉の倉良

総合建設

商事部・石材部・設備部・土木建築部・造園部・企画部

永遠の眠りさ歸かなお墓で  
 ISHIRYO  
 GROUP

株式会社 泉山石材

株式会社 泉山石材  
 〒031 八戸市是川坊坂1-2  
 TEL代表 (0178) 96-1414  
 FAX (0178) 96-5716

八巻石材工業株式会社  
 福島県伊達郡国見町大字小坂字町田2-8  
 TEL 0245 (85) 5315  
 FAX 0245 (85) 5431

有限会社 清水石材  
 岩手県花巻市円万寺字松林132  
 TEL 0198 (24) 6383  
 FAX 0198 (24) 4479

「人は全曹青に入りましょう」というようなキャンペーンが欲しいところですが……。あるいは、名目上では通信のみに参加する会員というレベルを設けても良いのかも知れません。いずれにせよ、このパソコン通信につきましては引き続き検討して行きたいと思えます。何卒、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

尚、パソコン通信とはいったいどの様なものなのか、そしてどのような装置が必要となるのか、第十期の執行部で作成しました「パソコン・ワープロ通信の概要」から紹介させて頂きます。

\*\*\* \*\* \*\*

文字通りに解釈すると「パソコンによる通信」となるが、ワープロを使っても行えるため「ワープロ通信」と呼ぶ人もいます。ワープロも一種のコンピュータだから、意味としては大枠では変わりがない。そこで、特別にことわりがない場合には、「パソコン」は「ワープロ」に、「パソコン通信」は「ワープロ通信」にと読み代えてもさしつかえない。

パソコンを電話回線につないで、「オンライン」で通信しようというわけで、はやい話が、ふつうの電話機のかわりにパソコンを置いたと考



えればよいだろう。しかし、家庭で使っているようなパソコン同士をそのまま電話回線で結んでも、パソコン通信としては成り立たない。

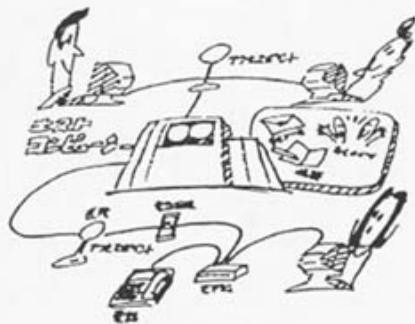
つまり、情報の流れる道筋としてのパソコン通信をみると、「パソコンを電話回線につないで」というのは、説明が充分ではない。実際には、「通信のための中枢機能を持ったホスト・コンピュータとパソコンを電話回線で結ぶ」必要がある。


このホスト・コンピュータが、膨大な情報を蓄えたり、求めに応じて情報を送り出したり、パソコンとパソコンとの手紙(電子メール)交

換の仲介をしたりといった、通信をコントロールする役目をはたしている。

そこで、通信センターとなるホスト・コンピュータを中心にして、電話回線の網が広がっていて、その先に個々のパソコンが結ばれているという構図ができていく。こんなことから、パソコン通信を「ネットワーク通信」と呼んだほうが、より実態に近いという意見も出てくるわけである。

最近になって急激に広がってきた最大の理由は、なんといってもパソコンやワープロの高性能化と低価格化、それによる一般への普及がある。ほんの十年ほど前まで、「オンライン」といえば銀行の自動支払機くらいしか思い浮かばなかった。それが今



墓碑・記念碑 設計施工  全優石加盟店、確かな技術と信用の店

かみと  
**上戸石材店**  
 代表取締役  
 上戸 末治

各寺院、宗派御用達店

かみとすえじ  
**上戸末治石材店です。**

本社・工場 二戸市金田一字上田面180-1 (二戸バイパス沿い)  
 ☎ 0195 (27) 2411・FAX (27) 2413  
 石の店かみと 二戸市金田一字上田面181-1  
 ☎ 0195 (27) 4649・FAX (27) 3704

盛岡店 (布)石の上戸 岩手郡滝沢村字牧野村1011-36  
 ☎ 0196 (84) 2238・FAX (87) 1904  
 青森店 上戸家石材 青森市駒込字月見野23-1  
 (布)上戸石材商事  
 ☎0177 (41) 4732・FAX (41) 7725

では、ごく普通のパソコンに容量の大きな記憶装置をつけてやれば、ホスト・コンピュータと違って自前のネットワークを作ることができるようになったのだ。

さらに、法的な整備もある。実際にパソコン通信が始まったのは、一九八五年の電気通信事業法の施行がきっかけ。この法律によって、電電公社(当時)以外のものが電話回線を使って「サービス事業」を行えるようになった。さまざまな情報を提供することをうたった、「パソコン通信会社」や「パソコン通信事業部」がスタートしたのは、この時期からである。

次にパソコン通信サービスを利用するには、どのような装置が必要になるのだろうか。

まず、「電話回線」が必要なのはいうまでもない。といっても、専用の回線はまったく必要なく、通信をするときだけ電話機を外してつなぎ換えればよい。回線の種類もブッシュホンである必要はなく、古いタイプのダイヤル式でも可能。要するに、家庭にきている普通の電話回線にそのままつなげればよい。もちろん、携帯電話でも利用できる場合が多いので、無線パソコン通信も考え

られるわけだ。肝心なのは「パソコン」または「ワープロ」。

通信するには、以下に紹介するようなパソコン通信用の機器を接続する必要がある。そのための「差し込み口」がない場合には不可能だが、ほとんどのパソコンには設けられていると考えてよいだろう。

ワープロの場合、古いタイプにはこの差し込み口が見当たらないことが珍しくない。しかし、最近の製品には「通信できる」をうたったものが増えているので、カタログなどで確認できるはずだ。

さて、これだけでパソコン通信ができればよいのだが、パソコンの情報には「デジタル」で電話は「アナログ」と性質が異なるため、「話しが合わない」。そこで、アナログをデジタルに、デジタルはアナログへと、通訳する装置が必要になってくる。これが、パソコン通信の話題でよく登場する「モデム」という機器である。



話のタネになるだけあって、製品によって性質や性能面での規格がさまざまある。代表が通信速度で、一秒間に送れる情報量が「 $\times \times$ ビー・ビー・エス(bps)」だ。「 $\times \times$ ボー」だと、使ってみると問題になってくる。が、最初に使うものなら神経質にならずに、売り場で相談するか「もっとも一般的なモデム」といえば話がすむはずだ。

パソコンでは計算するには計算ソフトが必要なのに、ワープロ・ソフトが必要なのに、パソコン通信にもコントロールするプログラムである「通信ソフト」が不可欠だ。これにも多種多様あって、専門誌で調べようなどと考えたら頭が痛くなるだけだ。で、モデムと同じように、パソコン・ワープロ売り場で聞いたほうが早いのだが、その際に必要なのは「どんなパソコン・ワープロで使うのか」という一点。

最近、小型のパソコンやワープロが増えたせい、モデム装置が本体に組み込めるようになっていたり、通信ソフトが最初から搭載されていたりする製品も多い。そのあたりを確かめてから品揃えをすると、コンパクトなセットになる。

印刷のトータル・プロダクト

## 三協美術印刷株式会社

本社

東京都品川区北品川5-7-17

TEL 03 (3443) 6781代

FAX 03 (3444) 1626

佐倉工場

千葉県佐倉市大作2-12-1

TEL 0434 (98) 3711代

FAX 0434 (98) 3714

# 禅文化学林

## 全曹青主催 講演会開催のご案内

カンボジアは仏教国としての歴史を持ち、仏教に基づく文化・文明を築いてきた。その一方で、近年同国では紛争が続いてきたのも事実であるが、長きにわたる戦火を経て、今平和な国づくりを進めている。その中で、僧侶の担う役割は大変大きい。この度来日するヘン・モニンダ師は、仏教に基づく復興活動に献身している一人で、不安定な政治状況にありながら、あくまでも中立の立場で同国の学校教育、経済、健康、仏教教育、その他の復興基金のプロジェクトを行っている。

そのようなカンボジアにおける同師の活動を知ること、我々にも大変有意義なことと思われる。

### 会場

〒754-11 山口県吉敷郡秋穂町東

七〇五二 長徳寺

TEL(〇八三九)八四一三四五四

FAX(〇八三九)八四一五七七〇

### 問い合わせ

右記の会場寺院まで

なお、宿泊ご希望の方もこちらへご連絡下さい。

交通案内

### 東日本方面

JR小郡駅下車、新幹線口よりタクシー約十五分くらい

### 西日本方面

そのようなカンボジアにおける同師の活動を知ること、我々にも大変有意義なことと思われる。

### 会場

〒389-08 長野県埴科郡戸倉町

戸倉二〇五一一

### 科野の里

ふるさと創造館

TEL(〇二六二)七五一一四九〇

FAX(〇二六二)二七一一五五〇五五

### 問い合わせ

長野第一曹青事務局 東昌寺

TEL(〇二六八)三一―二〇七八

午後二時より五時まで

午後二時より五時まで

### 交通案内

JR信越線、戸倉駅下車  
車で約五分(「白鳥園」となり)

### 主催 全国曹洞宗青年会

なお、曹青通信八九号では講師について「タイの開発僧」の方とありましたが、ここに訂正しお詫び申し上げます。

### 講師ヘン・モニンダ師の紹介

一九五八年生まれ。姓がヘン、名がモニンダ。一九八〇年に得度。一九八五年から九二年までカンボジア難民キャンプ内のクメール仏教研究所所長。八八年から九二年までクメール仏教青協会の副会長。一九九〇年より現在にいたるまでNGO「開発のための仏教」の所長。

この「開発のための仏教」は九〇年から九一年までは難民キャンプで活動し、ため池づくりやリーダー養成を行った。九二年からはカンボジア国内で活動しており、これまでに教育・相互扶助・人材養成などに様々な面で業績をあげている。そして、これらの活動に対しては国連難民高等弁務官事務所を初めとして、世界各国からまた様々な民間団体より支援を受けている。

## 曹洞宗本尊釈迦牟尼仏奉讃会

■奉讃会事務局連絡先

電話番号 03-3202-1231

曹洞宗本尊釈迦牟尼仏奉讃会事務局

住所 〒162 東京都新宿区戸山1-4-1

郵便宛先 〒162 東京都牛込郵便局私書箱112号

# 青少年教化研究部会報告

全曹青青少年教化部会では去る九月一日、京都市下京区、浄土宗西山禅林寺派、等善寺様を会場に同派の青年会の皆様との交流会をもつことが出来た。

私達の部会の鳥崎敬童師(高知県)の御紹介で計五名での参加であった。

等善寺御本堂においてお務めをすませ書院にてさっそく御住職久我徹昭師のお寺の由来、そして現在の青少年教化の現状をお聴かせ頂いた。

お話しをうかがって感じたことは、西山禅林寺派は、本宗と違い少数寺院ではあるが、京都を中心に全国が一つにまとまり、アイデアに富んだ「子供禅のつどい」等を行なっていることに感心させられた。特に強く感じたのは、参加者の子供達が大人になり指導の立場として参加され受け継がれている点であった。本宗の「子供禅のつどい」はどうかと考えさせられた。

また、青年会員が何日もかけ手造りの紙芝居や宗祖を劇として子供達に示されたり、ハンドベルを使っ

た宗歌等を御披露されたり、と努力をなさっておられる点である。さらに宗祖をパンフレット(しおり)の中心にとり、わかりやすく記し「禅のつどい」の前面に出している点が大きく我が宗と違う所と感じた。

子供達が楽しく感じてくれることももちろんだが、その中に宗祖道元禅師の教えが、もつと活かされ、帰宅につく時、道元さまの名前を覚えて家路につく子供が何人いるだろうか。いろいろ考えさせられる研修であった。しかし、一般青年を対象とした行事に関しては、同じく頭をかかえて居られる様であった。若い世代がどうしたらお寺へ近づいてくれるか。どうしてお寺へ足を運ばないのか。その原点をもう一度見直す時期が来ているのではないか。オウム教等に入信する若い人達がそれを求めているような気がしてならない。



年内にも次回は九州にて他宗派との交流をはかろうという部会員の皆様の息込みをお聞きしうれしくなりました。

最後に勉強会に御協力下さいました、浄土宗西山禅林寺派の皆様にごの場を借りて感謝の意を表したいと思います。

今後全曹青会員の皆様方青少年教化に対する良き案、アドバイスがございましたら御協力をお願い致します。

梅花流法具販売指定店

御寺院荘厳具・納骨堂設計施工

お仏壇一筋に80年、こころのやすらぎをおとどけする

株式会社

川宮の壇仏

〒070 北海道旭川市2条通10丁目左8号

電話 (0166)24-3353(代)

F A X (0166)23-6110



# 大阪曹青 《阪神大震災救援活動》 報告

この度の阪神大震災に関しては阪神地区をはじめとして多大なる被害が発生致しました。全国の皆さんが報道を通じてマスメディアから収集された神戸地区の被害の状況はもとより大阪管内、特に豊中市、池田市にわたる地域にも言い尽くすことのできない被害を被られた方々が多くありました。

このような状況の中、大阪曹青青年会の果たすべき地域の役割、なすべき活動、地元大阪の被害などを充分検討致しました。

尚且つ、大阪宗務所内に設置された災害対策本部と協力し、災害復興、被災者救援に最善を尽くすべく地震発生以来活動して参りましたが、折しも、阪神間の交通網は完全に寸断されマヒ状態であり、重ねて電話回線は不通で、近隣寺院間でさえも連絡不能になり、様々困惑を究めました。

大阪曹青青年会といたしましては、ボランティアという性質上、活動経過に関しては公開、報告すべきものではないという見解をもってお

りますが、全曹青の一員として、活動記録をご報告致します。

一月一八日 曹青大阪宗務所内に災害対策本部が設置される。

一月一九日 青年会員を通じて大阪府下の被害状況を確認。

一月二三日 緊急宗務所所会において災害対策本部から青年会に対して全面協力の要請をすることが決定される。

青年会員個別に可能な範囲内で被害寺院を訪問し被害状況を確認。

一月二四日 近畿曹青連絡協議会を開催し各曹青の連絡網を作成し、活動方針を協議する。

一月二六日 青年会総会において全会員に災害対策活動方針を説明。併せて、宗務所内災害対策本部からの要請により本部の活動員としての協力体制を決定。

青年会副会長二名を災害対策担当に決定。

以下は平成七年一月三十一日より三月四日までの活動内容です。

平成七年

一月三十一日

内 容 大阪第五・六教区被災寺院の被災状況の把握するため、お見舞いをおねて訪問し、片付けの手伝いをする。

豊中市の被災状況を把握するために豊中市役所を訪問し問い合わせ、市担当職員と活動方針を検討する。

内 容 青年会員一八名

二月六日

内 容 炊き出し(夕食)

豚汁、ふる炊き大根、田楽(こんにやく)

配布場所 庄内体育館、庄内南センター、野田センター

数 量 五二〇人分

人 数 青年会員二二名

二月一日

内 容 炊き出し(夕食)

ホワイトシチュー、野菜サラダ

配布場所 庄内体育館、庄内南センター、野田センター、野田小学校、野田保育園

数 量 四七〇人分

—— 木版・手摺の佛教書籍御経本 ——

黄檗鉄眼版 大般若波羅密多經 全六百巻

同上両面摺三百巻仕立 (転読用堅牢黄紙製出版元)

ばい よう  
有限会社 貝葉書院

〒604 京都市中京区二条通木屋町西入  
TEL (057)23-0919 振替 京都 01000-0-755  
FAX (075)22-3582 振替 大阪 00930-3-1540

- ・人数 青年会員一七名
- 二月二三日
- ・内容 義援托鉢
- ・場所 大阪府羽曳野市周辺
- ・浄財 金八七、一〇〇円
- ・人数 青年会員二一名
- 二月一六日
- ・内容 炊き出し(夕食)
- カレ、シチュー、野菜サラダ
- ・配布場所 庄内体育館、豊中市立第六中学校、庄内南センター、野田センター、野田小学校、野田保育園
- ・数量 七五〇人分
- ・人数 青年会員一九名
- 二月二日
- ・内容 炊き出し(夕食)
- けんちん汁、野菜サラダ
- ・配布場所 庄内体育館、野田センター、野田保育園
- ・数量 三三〇人分
- ・人数 青年会員一三名
- 二月二七日
- ・内容 炊き出し(夕食)
- にゅう麺
- ・配布場所 庄内体育館、庄内南センター、野田センター
- ・数量 四五〇人分
- ・人数 青年会員一八名
- 三月四日

## 賛助会員名簿

東京都	高岩寺	喜運寺	東国寺	正洞院	円明寺	開修院	向雲寺	蔵守院	大増寺	最興寺	西有寺	戎翁寺	浄雲寺	妙嚴寺	松源寺	清鏡寺	満讚寺	法心寺	興長寺	大慈寺	龍海院
群馬県	教徳寺	萬松寺	慈願寺	水福寺	無量院	文昌寺	宝寿院	明言寺	宗龍寺	長伝寺	桂昌寺	宗泉寺	龍泉寺	長泉寺	善宗寺	林松寺	女性寺	種徳院	祇園寺	龍稔院	医王院
茨城県	龍心寺	宗胤寺	観音寺	永福寺	大洞院	瑞岩寺	泉龍寺	長源寺	慈照寺	盤龍寺	龍興寺	光照寺	洞雲寺	大学寺	法幢寺	明徳寺	天寿院	龍雲寺	東泉寺	養勝寺	増船寺
千葉県	春林院	永住寺	蓮覚寺	大聖寺	仙林寺	大教寺	長松院	伝昌寺	秋月院	宝蔵寺	全隆寺	竜潭寺	天年寺	広済寺	禅林寺	観音寺	瑞雲寺	林光院	宝泉寺	地藏寺	瑞泉寺
静岡県	龍心寺	宗胤寺	観音寺	永福寺	大洞院	瑞岩寺	泉龍寺	長源寺	慈照寺	盤龍寺	龍興寺	光照寺	洞雲寺	大学寺	法幢寺	明徳寺	天寿院	龍雲寺	東泉寺	養勝寺	増船寺
愛知県	春林院	永住寺	蓮覚寺	大聖寺	仙林寺	大教寺	長松院	伝昌寺	秋月院	宝蔵寺	全隆寺	竜潭寺	天年寺	広済寺	禅林寺	観音寺	瑞雲寺	林光院	宝泉寺	地藏寺	瑞泉寺

(順番は全国寺院名鑑に準ずる)

・内容 演劇鑑賞会  
劇団だんま「人形劇」  
たこやき、綿菓子、屋台実演提  
供

・人数 青年会員八名  
最後になりましたが、被災されま  
した皆様方のいち早くの復興を御祈  
念申し上げます。

・会場 豊中市立島田小学校  
上演 午後二時～三時

・鑑賞者数 一二〇～一三〇人  
たこやき 三〇〇食 綿菓子  
三〇〇個

なお、『曹洞宗報』9月号のP26  
～P27に大阪府宗務所長、前野挂三  
師の御札の言葉がありますので、併  
せてご覧ければ幸いです。

〈梅花流法具指定販売店〉 法衣・袈裟・打敷・寺院莊嚴具・京仏壇・京仏具



# 株式会社 安藤

〒605 京都市東山区古門前通花見小路東入ル

東京店 〒105 東京都港区芝2丁目15番2号

法衣部 電話(075)541-8161番代

電話(03)3454-3232番代

仏具部 電話(075)541-8165番代

FAX(03)3454-3251番

贈答品部 電話(075)541-8168番代

福岡店 〒812 福岡市博多区上呉服町12-7

電話(092)291-2143番代

FAX(075)525-2070番

FAX(092)291-2144番

本社



# 全曹青の コラム

前回第89号を全国の寺院約二二〇〇〇力寺に送りましたところ、貴重なご意見を幾つか頂戴致しました。それで、その中から一、二を紹介し、今後の「曹青通信」の発行の指針としたいと思えます。なお、住所の詳細と寺院名の銘記は、ここでは差し控えたいと存じます。

＊北海道のあるご寺院様からのご意見です。

良いことを仕様というならば、資金は自分達で造りなさい。スモール政治屋の真似などしないで苦勞をして会を造りなさい。賛助会費二千元を出資するのにも困る寺院があることも考えなさい。

＊静岡県のあるご寺院様からのご意見です。

曹青通信を読んで憶うこと  
大変立派な行事のかずかずで感心しました。望むらくは曹青とか禪とかは一派、一派に片寄り、それ以外の他宗派の人々は置き去りにされま

か。曹青会の方々が努力されていることは皆「菩薩行」であると私は信じます。日常生活の中に禪があり、菩薩行があり、それを引き出すのが我々の務め。

＊京都府のある寺院の方の感想です。皆様のご活躍うれしく思っております。農山村の小さい寺の寺族として一言、後継者問題です。仕方が無い、無理なことだと言う事は解っておりますが、何とかありませんかねえ。

「涅槃講式本」を  
実費にてお譲りいたします！

第三教区青年会が法式研修を進める中で涅槃講式を研修しましたが、講本が少なく、まず、講式本の編集から始まりました。古くから当教区で使用されていた明和本（一七〇七年頃）と思われるものを基にして、祭文、式文を書き下し文になおし、講本上部欄外にそれぞれ配役の進退動作を書き記し、手作りの講本を作りました。

ご希望の方に実費にてお譲りしますのでご連絡ください。

涅槃講式本  
大きさ ○縦16.5cm×横9.5cm×厚さ2.8cm  
装丁 ○藍色クロス装、金箔押し、

内容 ○祭文、式文は読みやすい書  
豪華折本

き下し文とし、漢字には読みがなをつけています。

○各配役の進退を、上部欄外に記載しています。

○鳴らし物等を記載しています。

実費 ○作成実費一冊三、〇〇〇円

連絡先 729-04 広島県豊田郡本郷町大字

本郷一五四一 円光寺内

広島県第三教区青年会事務局

垣井 良 孝

電話 ○八四八—八六一—二二八七

FAX ○八四八—八六一—二二八七

郵便振替口座 ○一三四〇—〇一三三六五七

広島県第三教区青年会

## 編集後記

「曹青通信」第九〇号をお届け致します。今号は各研究部会の経過報告が中心となっております。コラム欄には、「曹青通信」へのご意見を頂戴しましたので、それを取り掲げております。仲々、思うように編集ができないことに、いささかのものどかしさを感じずにはおられませが、今後この通信が会員の皆様にも更には全国の皆様方に「これは——。」と思わせるようなものにして行きたいと考えております。今号は諸般の事情により多少遅れてしまいましたこと、ここにお詫び申し上げます。

寺院用佛壇・佛壇・製造販売  
曹洞宗梅花流法具販売指定店



# ほうこう

本店・工場 〒940  
新潟市 湯川店 〒951  
新潟市 越前店 〒350-11  
高崎営業所 〒370  
長野営業所 〒380

長岡市高畑町 6 1 7 番地  
新潟市関屋大川前 1-11-2  
川越市新宿町 1-23-2  
群馬県高崎市江木町 1179-2  
長野県長野市稲葉 1980-1

☎ (0258) 33-5644  
☎ (025) 233-4493  
☎ (0492) 44-7741  
☎ (0273) 24-3721  
☎ (0262) 22-3811